

INDEX

- 1 女性リーダー育成海外派遣事業による海外派遣者からの便り／お子さまの帯同支援スタート
- 2 各種セミナー実施報告
- 3 第15期（令和6年度）WTT 教員紹介
- 4 岡山大学版 リーダー育成プログラム／岡山大学における研究者支援



女性リーダー育成海外派遣事業による海外派遣者からの便り

科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」により、女性リーダー育成海外派遣事業を実施しています。本事業により海外の研究機関へ派遣している女性研究者からのお便りを紹介します。

氏名 アイザワ サヤカ 相澤 清香 **所属** 学術研究院環境生命自然科学学域 **職名** 准教授

私は現在カリフォルニアの UC バークレーに滞在しています。ここでは鳥類を使った環境応答や光周性の研究に参加しており、異なる学術的な環境での研究は、これまでの研究を新たな方向へ展開する貴重な機会だと感じています。

またいくつかの授業にも参加するなかで、私の知る授業との違いを実感しています。知識は学生の熱心な予習復習により習得され（すばらしい!）、授業では動画を最大限に活用し、概念や概要を伝えることに重点を置き、そこから質問や意見交換が中心となります。的外れな発言もありますが、学生たちの積極的に発言する姿勢は見応えがあります。これは、私の子供が通う現地の小学校でも同様です。先生は動画を活用し、板書はおろか、説明もほとんどしません。子供たちは授業中にノートを取ることはほぼなく、自分の意見とその理由を説明することがひたすらに求められます。

このような授業進行に驚きましたが、同時に教育システムの違いを深く考えさせられました。授業は時にぐだぐだになり、学力向上の効率は下がるかもしれませんが、自分の意見を隠すことなく発言する気質がどのように形成されるのか、その過程を見ることができるのは興味深い体験です。



出張時に利用できる、お子さまの帯同支援（ベビーシッター費用助成）をスタートしました

本学に勤務する常勤の教員（男女問わず）に対する研究と育児の両立支援として、子を出張に帯同し、用務先においてベビーシッター等を利用した場合の経費を大学が負担する制度を開始しました。

- 対象者** 本学に勤務する常勤教員であって、小学校6年生までの児童を養育する者
- 助成内容** ベビーシッター等を利用した時間に係る利用料金（ベビーシッター等が保育場所に移動する際に必要な交通費を含む）を助成します。入会金、年会費、キャンセル料、食事代、おむつ代等は対象外です。詳細・申請方法はこちらの Web サイトをご確認ください。

URL <https://okayama-u-diversity.jp/with-plan/projects/research-parenting-support/>

岡山大学
独自制度!!

各種セミナー実施報告

研究者のための効果的な時間管理術

2024年5月15日（水）14時～16時

本セミナーでは、講師自身が技術者の仕事をしながら確立したタイムマネジメントの手法を具体的に説明していただきました。

ゆとりをもってあらかじめ計画表を作成すること、大きな項目は小さく分けて実施計画を立てる方がよいなど、計画的に仕事を進めるために、効果的・効率的に時間を使うために役立つ手法を紹介していただきました。32名が参加し、「時間活用が甘かったことに気づき、改善点が理解できました。このような身に着く講演を受ける機会がもっとほしいです。」「記録の重要性がよくわかりました。複数人のプロジェクト管理など、参考になる点が多かったです。」「これまで種々のタイムマネジメント法を試してきたが、フィードバックの重要性とマネジメントに対する柔軟性がタイムマネジメントには不可欠であることを理解でき、とても有意義であった。」などの感想が寄せられました。

メンター研修 ～メンタリングの正しい理解とスキルを身に着けるために～

2024年6月19日（水）14時～16時

本研修では、指導する立場の方にメンタリングにおいて意識すべき行動や考え方を身に付けてもらい、若手のサポート体制を作ることで、若手研究者や学生の適切なストレスマネジメントが行えるようになることを目標に開催しました。15名が参加し、小グループに分かれてメンタリングについて参加者自身の現状把握をおこない、メンターとして心得るべきこと、メンタリングの重要なポイントなどを教えていただきました。参加者からも「大変参考になった」「すぐに使える知識を学べてよかった」などの意見が寄せられました。

Nature 英語論文執筆ワークショップ

2024年8月26日（月）～8月27日（火）

トップレベルの Journal への投稿を目指す本学の教員・研究者を対象として、8月26日・27日の2日間、Nature 英語論文執筆ワークショップを開催しました。

今回は理系の研究者を前提としたプログラムでしたが、人文系教職員の参加も多く、英語のワークショップの進め方を学びに来たという受講者もあり、論文投稿のスキルとしても役に立つ内容でした。参加者からのアンケートには、「It was very helpful to gain knowledge on the editorial process which I have no idea prior to this seminar.」「It helps me to make my manuscript easier to understand by the editors.」「I have learnt many things regarding publishing articles.」などの感想があり、大変好評なワークショップとなりました。



英語での講義研修：英語で効果的に教えるために

2024年9月3日（火）9時～16時

近年留学生の受け入れが増加し、大学でも英語で講義する機会が増えつつあります。このような中で、英語でどのように講義をすれば、効果的に内容を伝えることができるのでしょうか。積極的に学生が講義に参加し、理解度を高めるためにはどのような取り組みをすればよいのか、など悩んでいる教員も多いと思います。この研修では、参加者は3～4人のグループに分かれ、「今持っている英語力でどのようにすれば問題を克服しつつ、より効果的な教え方ができるのか」を中心に、提示された課題についてグループ内で意見交換しつつ考えを纏めて発表しました。

参加者からは、「日本語での講義法と共通する部分も多く、使える英語表現を沢山学ぶことができて有意義だった。」「英語に限定ではなく、日本語の授業設計にも役立つようで大変興味深かった。」「研修内容は具体的に非常に参考になった。今後も続けてほしい。」などの感想が寄せられました。



第15期（令和6年度）WTT 教員紹介

氏名 サクライ 櫻井 モエ 萌

所属 学術研究院環境生命自然科学学域

職名 助教（特任）



研究内容 地球は表層のおよそ7割が水に覆われています。この水は、プレートの沈み込みに伴い、大量に地球内部へと沈み込んでいき、地球深部の鉱物に取り込まれ、鉱物の物性を変化させる一因となります。私は、地球マンツルのダイナミクスを明らかにするため、鉱物中に取り込まれた水の挙動の解明を目指し研究を行っています。

WTT 教員となって これまでは主に地球マンツルのケイ酸塩鉱物を対象に研究を行ってきましたが、地球科学科には惑星コアといった金属を対象に研究をされている先生方もいらっしゃいます。惑星科学・宇宙物理分野は、岡山大学最重点研究分野に選定されていることもあり、自身の今までの研究だけではなく、周りの先生方の胸を借り、新しい研究テーマにも挑戦していきたいと考えています。何卒よろしくお願い申し上げます。

近況報告 現在、ドイツに所在するバイロイト大学 BGI に滞在し、地球深部現象に関する高圧実験を行っています。

国際共同利用拠点施設であるため、多国籍な研究者方との交流を通じ、充実した研究生活を送っています。



氏名 サカタ 坂田 ナナミ 七海

所属 学術研究院環境生命自然科学学域

職名 助教（特任）



研究内容 私は、持続可能な農業を目指し、病原菌の感染機構の解明や病害防除に資する薬剤の作用機構の解明に関する研究を行っています。特に病原菌の中でも病原細菌を対象とし、病原細菌がどのような感染戦略をもっているのか、一方、植物は病原細菌に対してどのような防御機構を兼ね備えているのかの解明に向けて、遺伝子工学的手法を用いて取り組んでいます。

WTT 教員となって 食料問題の解決に取り組みたいという思いから、植物病理学を専攻し、今日まで研究を続けてまいりました。岡山大学では、岡山の農業、日本の農業、世界の農業に役立つ研究を学生さんと共に行っていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

近況報告 先生方や研究室の皆様の支えもあり、新しい環境にも慣れ、研究も順調に軌道に乗せることができました。今後は新たな挑戦を重ねつつ、専門性を深めて研究を発展させていきます。引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



ラボの合宿でバスケットボールをしました！

氏名 コマタ 古俣 めぐみ めぐみ

所属 学術研究院ヘルスシステム統合科学学域

職名 助教（特任）



研究内容 医学における検査値の歴史を研究しています。たとえば血圧やコレステロールなどについて、身体の状態を数値で把握し、それを特定の基準に基づいて判断し、治療や生活指導に繋げるといった行為は、現在の医療現場では日常的になされています。そういった営みがなぜ、どのようにして起こってきたのかを歴史的に明らかにすることで、健康とは何か、あるいはどのようなものとして捉えられてきたのかを考えたいと思っています。

WTT 教員となって 専任教員として働くことも岡山の地に暮らすことも初めてでしたが、メンターの先生をはじめとした周りの先生方や WTT 担当職員の方々の手厚いサポートのおかげで、不安なく楽しく研究を進めることができそうです。これから WTT 教員として自分自身の研究をさらに広げ深めると同時に、他分野の先生方や WTT 教員の先輩方と積極的に交流させていただき、研究についても研究者としてのキャリアのあり方についても視野を広げていきたいと思っております。

近況報告 6月に中国・南開大学で行われた共同研究会で発表させていただきました。着任早々国際的な研究交流の機会をいただき、モチベーションがますます高まりました。

岡山での生活にも慣れてきて、最近は食べ物屋さんめぐりを楽しんでいます。お気に入り「富士屋本店」の中華そばです。



岡山大学版 リーダー育成プログラム

URL <https://okayama-u-diversity.jp/leader-development-program/>



目的 講義・セミナーと実践を組み合わせたプログラムにより、教育・研究・運営能力を備えた教授職候補者の育成を図るとともに、さらに将来の管理職候補者としての力を身に付けます。

プログラムの構成 本プログラムは、Phase1のリーダーセミナー、Phase2のリーダー素養、Phase3の国際力、Phase4の実践力、Phase5の管理運営力の5つのPhaseで構成されます。

受講について 本プログラムの受講者は、各部局からの推薦に基づき決定します。すべてのPhaseの受講を希望される方は、当室にお尋ねください。

Phase1・2・5として実施する講義・セミナー等の開催、Phase3として実施する海外派遣事業、Phase4の国際シンポジウム等開催支援などの詳細については、ホームページおよびダイバーシティ推進本部から配信するアナウンスをご確認ください。



岡山大学における研究者支援

URL <https://okayama-u-diversity.jp/researcher-support/>



令和7年度も
実施予定！

女性リーダー育成海外派遣事業

女性研究者の国際的研究力の向上並びに国際的研究ネットワークの構築を支援し、女性リーダーを育成するため、女性研究者を海外の大学・研究機関に派遣し、研修並びに共同研究の機会を提供します。

女性研究者研究費支援事業

女性研究者の研究力、研究チーム・共同研究オーガナイズ能力の向上等を目的とし、女性研究者自らが主導して推進する共同研究等の積極的な研究活動に対し、研究費を支援します。

リスタート支援助成金 男性も利用可能

出産・育児・介護及び看護等のライフイベントによる研究中断から復帰する研究者（男性研究者を含む）を対象にして、研究者の継続的なキャリア形成支援を図ることを目的とし、リスタートアップ研究費を助成します。

出産・育児・介護及び看護等のライフイベントにより、概ね3ヶ月以上やむを得ず研究活動を中断した研究者（原則として、研究中断の始期が申請時より直近4年以内）が対象です（男性研究者を含む）。

リサーチサポーター制度 男性も利用可能

出産・育児・介護等を理由に、研究時間の確保が困難な教員および非常勤研究員を対象に、研究者の指示の下で研究補助業務に従事する支援員（リサーチサポーター）を配置する「リサーチサポーター事業」を実施します。なお、本事業は出産・育児・介護等のライフイベントにより、一時的な期間または緊急的に支援が必要な研究者へ支援員を配置するための事業です。業務が多忙等の理由は支援対象外です。

お知らせ 令和7年4月からの利用については、令和6年12月頃公募開始予定です。



お問い合わせ

国立大学法人岡山大学 ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室

〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号

TEL : 086-251-7011/7303

EMAIL : sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp

WEB : <https://www.okayama-u-diversity.jp>

